

2016年3月18日

2016年度統計関連学会連合大会について（第二報）

— 企画セッションの公募 —

運営委員長 桜井裕仁（大学入試センター）

実行委員長 星野伸明（金沢大学）

プログラム委員長 林 篤裕（九州大学）

今回で15回目になる2016年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会も統計関連学会連合に属する全ての学会の共催により開催する運びとなりました。大会1日目（9月4日（日））は、チュートリアルセッションと市民講演会を香林坊にある石川県教育会館で開催いたします。一般講演などは2日目以降（9月5日（月）～7日（水））に金沢大学角間キャンパスの人間社会第1講義棟で開催いたします。

この第二報では、主に企画セッションの公募をご案内いたします。今後、連合大会のホームページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2016/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

1. 企画セッションの公募

統計関連学会連合大会プログラム委員会は、市民講演会、チュートリアルセッション、企画セッション、コンペティションセッション、ソフトウェアセッション等を担当しております。統計関連学会会員の皆様でご意見やご提案をお持ちの方は是非お知らせください。

また、企画セッションに関しましては、今回もこれまで通り公募いたします。広い意味で統計学の発展への寄与、統計学の社会的使命に関わる企画のご提案を歓迎いたします。なお、応募が多数の場合にはプログラム委員会で調整させていただくこともありますのでご了承ください。

企画セッションの申込みに際しては、セッションのテーマとねらい、オーガナイザーの氏名・所属・連絡先、予定講演者と演題名をメールにてお知らせください。企画セッション1件あたりの時間は120分を予定しております。講演件数・講演方法などは、この時間の範囲で自由に設定いただけます。

企画セッション応募締切り

2016年4月17日（日）[厳守]

企画セッション応募先

kikaku2016(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。

担当責任者 川端 一光（明治学院大学）

2. その他の準備状況のご報告

2.1 コンペティションについて

「コンペティション講演」に関わる事項は次の通りです。コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は2016年4月1日時点で満30歳未満の若手研究者(博士後期課程院生を含む)、または、講演時に学部学生や修士課程(または博士前期課程)院生(年齢を問いません)です。連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。なお、研究報告の申し込み時点でコンペティション対象者は、共催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、申し込みと同時に入会手続きをする方も含みます。また、事前審査は行いませんので、申し込んだ有資格者全員がコンペティションに参加できます。審査は、報告集の内容と当日の口頭発表に対して、各学会から選出された審査員による総合的な評価で行います。

2.2 チュートリアルセッション、市民講演会、ソフトウェアセッションについて

9月4日にチュートリアルセッションおよび市民講演会を開催予定です。多くの市民や研究者の方々にとって興味を持っていただける内容を企画中です。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、昨年と同様にソフトウェアセッションについても計画しています。詳細は、第三報でお知らせいたします。

2.3 一般講演申込、報告集原稿提出、事前参加申込について

一般講演や参加の事前申込み、報告集原稿提出はホームページ上で行います。一般講演申込の締め切りを5月下旬(予定)とし、それ以降、報告集原稿提出および事前参加申込の締め切りを設定いたします。確定した期日や具体的な企画は、2016年4月下旬頃発行予定の第三報でお知らせいたします。

3. 宿泊早期予約の注意喚起

2015年3月の北陸新幹線開業以来、金沢市内および近辺では宿泊施設の予約が取りにくい状況が続いています。また本大会の開催期間には、金沢大学角間キャンパスにて他学会の開催も予定されており、近隣の宿泊施設は満員になることも予想されます。金沢駅周辺のホテルには、既に満室のホテルも出てきています。お早めに宿泊をご予約ください。